

QST病院で非小細胞肺癌にて炭素線治療（重粒子線治療）CIRT を行われた方へ
病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上などのため
に、人を対象として行われる研究のことを臨床研究といいます。より良い医療の発展
のために、多くの患者さんに臨床研究にご協力頂くことが必要です。QST病院では、
上記のような目的で以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療で得られ
た記録をまとめることによって行います。このような研究では、文部科学省・厚生労
働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さん
の一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公
開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、
以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知
的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくこ
とができます。また個人情報保護法に基づく開示・利用停止等の手続き等を希望され
る場合にはお申し出ください。

[研究課題名] FDG-PET/CT画像代謝マーカーと肺癌の炭素線治療（CIRT）の治
療成績の遡及的解析

[研究実施期間] 許可日～2022年03月31日

[研究機関] 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
量子医学・医療部門 放射線医学総合研究所 及び QST病院

[研究責任者] 田村謙太郎

[研究の目的] この研究は、QST病院で施行されたFDG-PET/CT画像から非小細
胞肺癌の治療効果や予後を推測することを可能にする画像バイオ
マーカー(医用画像から得られるデータ指標)を探索することを目的と
しています。

[研究の方法]

●対象となる方々

2011年4月から2020年9月までにQST病院で非小細胞肺癌にてCIRTを行い、治
療前にFDG-PET/CTを撮影された方

●利用する情報

年齢、性別、病歴、治療歴、治療内容、再発の状況、血液検査結果（腫瘍マーカー
など）、治療前および治療後の画像データ（CTなど）等の診療記録

診療で得られたデータを情報取扱いの安全管理された電子システムにより集計しま
す。新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

患者様の権利と安全を守り、データの信頼性を確保するために、専門家がカルテを確認することはありますが、内部でのみデータは扱われます。研究成果は、誰の情報であるかがわからない状態で発表します。個人名などが表に出ることは絶対にありません。（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この研究にご自分のデータを使ってほしくない方（または代理の方）は、いつでもお申し出いただけますが、できるだけ2021年5月31日までにご連絡ください。データ解析に使用して個人情報と切り離されてしまった診療情報は取り除けないことがあります。個人情報が表に出ることは一切ありません。

この調査へのご自分のデータの使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門

放射線医学総合研究所分子イメージング診断治療研究部/ QST病院

田村謙太郎

電話；043-206-4074（平日；9：00～17：00）